

# 新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

担当課：

担当課長名：

事業名	東九州自動車道 かまゑ きたがわ 蒲江～北川		事業区分	高速自動車国道	事業主体	
起終点	自：大分県南海部郡蒲江町 至：宮崎県東臼杵郡北川町			延長	2.6 km	
事業概要	<p>東九州自動車道は、北九州市を起点として、大分市、宮崎市、日南市及び鹿屋市を經由して鹿児島市に至る延長約43.6kmの高速自動車国道である。本路線は、九州縦貫自動車道及び九州横断自動車道と接続し、東九州地域の広域ネットワークを形成し、産業・経済・文化の発展、広域的な連携による地域の自立の促進並びに活力ある地域社会の形成に欠くことのできない根幹的な基盤施設である。</p>					
事業の目的、必要性	<p>蒲江町～北川町間は、並行する一般国道388号とのダブルリンクによる道路交通の信頼性の向上、大分市と延岡市等との旅行時間の短縮、北蒲町から宮崎空港へのアクセス向上等、沿道地域の活性化に寄与する重要な区間であり、社会経済活動の発展を大きく促進するものである。</p>					
全体事業費	1,063億円			計画交通量	6,300～8,700台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益		基準年	
	3.3	636億円 事業費：606億円 維持管理費：30億円	2,116億円 走行時間短縮便益：1,915億円 走行費用減少便益：146億円 交通事故減少便益：55億円		平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標3（高次医療機関までの搬送時間が短縮される）</li> <li>・指標5（日常生活圏中心都市へのアクセスが向上する）</li> <li>・指標14（冬季交通障害や異常気象時に、緊急輸送道路の代替路として機能する）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他11項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>交通経路の不備による救命救急活動や災害時緊急輸送などへの大きな支障を解消するとともに、東九州自動車道全線にわたる沿線地域の農林水産品の流通、観光等人々の交流、企業進出などを促進することにより、地域活性化や若者の定住を図っていくために不可欠である。（大分県）</p> <p>当該区間の整備により、両県間の交流・連携が活発化し、様々な分野での整備効果が期待される。既に供用している九州縦貫自動車道とともに、九州の東西の軸をなし、九州の一体的発展のためには、全線、整備されることが必要不可欠である。（宮崎県）</p>					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。